



Weekly Report



夕

2016~2017 年度
国際ロータリーのテーマ

- ◆例会日/週火曜日 12:30~13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 掛川 興太郎 ◆副 会 長 / 小池 平一郎
- ◆幹 事 / 矢島 栄一 ◆クラブ広報・情報委員長 / 中河 邦忠

NO. 1371 平成29年6月27日

◆点鐘	掛川興太郎 会長
◆SAA	橋詰 希望 委員長
◆ソング	我等の生業

◆出席報告 前田 博志 委員長

会員数24名 出席義務者22名 免除者2名
 本日 出席 19名
 事前 MU 1名 86.36%
 前々回(6/13) MU 0名 91.30%

【会長挨拶】 掛川興太郎 会長

皆さまこんにちは。本日は、私にとりまして、会長職としての最後の例会です。昨年7月より、渡辺会長よりバトンを渡され、本日の最終例会を、無事に迎えることが出来ました。本当に時間の経つのは早いものです。一年間を通じて、皆さまのご協力に対して心よりお礼を申し上げます。

又一年間を支えて頂きました小池副会長、矢島幹事、渡辺会員増強委員長、中河クラブ広報委員長、橋詰クラブ運営委員長、前田プログラム委員長、黒澤奉仕委員長の皆さま有難うございました。そして事務局の掛川さんにも感謝を申し上げます。

来期、小池会長年度は小諸浅間ロータリー30周年、皆で協力しあって成功させたいと思います。一年間の感謝とお礼をこめて会長としての御挨拶といたします。有難うございました。

【幹事報告】 矢島 栄一 幹事

1. 「韓日親善会議」について

日時 9月23日・24日

場所 グランドハイアットソウル

2. 週報

南佐久RC

【本日の配布物】

週報 1370号

◆ラッキー賞

NO. 12 黒田 説成 君

◆ニコBOX 小林 秋生 委員

掛川興太郎君	一年間皆様のご支援・ご協力、有難うございました。
小山 盛夫君	最後の例会出席に当たり、30年間を省みて感慨無量です。有難うございました。お世話になりました。
依田 晋一君	早退の為
橋詰 希望君	小山盛夫さん、私のスポンサーです。お疲れ様でした。
加藤 輝男君	先日の草刈り終わらせて頂きましたが本当に心がすっきり致しました。有難うございました。小山さんご苦労様でした。
小林 秋生君	今日は16~17年度最後の例会です。また退会会員が2名出てしまいました。寂しい限りですね。
前田 博志君	小山さん、有難う！
小池平一郎君	掛川会長、矢島幹事、一年間ご苦労様でした。
青松 英和君	小山さん、長い間お疲れ様でした。今後も宜しくお願いします。
中河 邦忠君	小山盛夫さん、末永くお元気で。
黒田 説成君	小山君の退会、寂しいですが、元気で過ごして下さい。
矢島 栄一君	幹事として一年間皆様にお世話になり有難うございました。

【本日のプログラム】「年度を顧みて」



「年度を顧みて」 掛川興太郎 会長

お陰さまで、本日、最終例会を無事に迎えることが出来ました。一年間を通して会員の皆様のご協力と御支援に対しましてお礼を申し上げます。会長職を御引受した時、会員増強が出来ないと消滅の危機にあるとの思いから、渡辺会員増強委員長、各会員のみなさまの協力を頂きながら、会員増に努めた結果、新井会員、加藤会員、浅倉会員、三名の新会員を迎えることが出来ました。残念なことに、二名の退会があり、純増は一名になりました。ハリコシ亭での家族納涼夜間例会、三条、弥彦神社へのバス旅行、クリスマス家族夜間例会等沢山の思い出を作って頂きました。小池会長年度は小諸浅間ロータリー創立30周年、更なる躍進を御期待申し上げ、一年間の御協力、誠にありがとうございました。



「年度を顧みて」 小池平一郎 副会長

掛川会長年度、副会長として何とか責を果たせたのではないかと思います。昨年 11 月に掛川会長が小諸商工会議所会頭になられ、不安を抱きましたが、無事一年間を過ごすことができ、会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

上半期、神津・若林会員が退会され、またこの期末、両川・小山会員が去られる事になり、大変淋しく思います。

しかし、新井会員・加藤会員・朝倉会員・山口会員の新しい仲間が加わり大変心強く思っております。今日は一層肩の荷を重く感じておりますが、一年間有難うございました。事務局掛川さん、ことにお礼申し上げます。そして、さらに宜しくお願い致します。

創立 30 周年に二度目の会長をおおせつかりましたが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



「年度を振り返って」 矢島 栄一 幹事

幹事の立場から、サポートしていきたい項目として年度当初に掲げたのは、①会員増強、②地区奉仕活動への取り組みと補助金申請、③次年度 30 周年記念事業への対応、④規定改正に伴う細則変更の検討というものでした。

① 会員増強では、掛川会長のもと増強委員会渡辺委員長をはじめ委員の皆さんを中心とした精力的な活動と新入会員の皆さんの多大なるご理解と献身的な決断をいただき、一旦は純増目標を大きくクリアという状況でした。しかしながら年度末にお二人が退会され、最終的に純増一人という結果でした。

② 地区奉仕活動では、小諸市八幡宮八朔相撲支援プロジェクトに対する地区補助金の申請をいたしました。慣れない申請で作成に多少でこずりましたが、なんとか提出に漕ぎつけました。まだ決定の通知がないので、子供化粧まわしの注文ができず今年のイベントには間に合いそうもありませんが、決定次第注文したいと思います。

③の30周年記念事業に関しては、実行委員長を中心に第一回検討会を5月に開き、記念式典に関する概略的事項を検討いたしました。今後も定期的に検討を重ね、万全の態勢で臨めるよう準備を進めたいと思います。

③ 規定改正に対する細則変更については、周りクラブの様子を見ながら当クラブに見合ったものを全員で検討していくことといたしました。周囲に目立った動きがなく検討会開催には至りませんでした。次年度には変更の必要性の見極めをお願いしたいと思います。

至らない幹事でしたが、皆様のご支援のもとなんとか役目を終えることができました。ありがとうございました。

「年度を顧みて」 会員増強委員会 渡辺 文夫 委員長

会員増強はクラブ全体の事業として全会員で取り組む必要があると思います。

今期は幸いにして平成28年8月には新井粒太会員が再入会致しました、また10月には加藤輝男会員、11月には朝倉俊次会員、山口洋一会員の計4名の入会が有り本当に面目が立ち誠にありがとうございました。残念ながら今年29年6月をもちまして、小山 盛夫会員と両川 栄会員2名が退会致します、長期に渡り大変ご苦労様でした。厚く御礼申し上げます。

当小諸浅間ロータリークラブは高齢化が進みいよいよ若手会員を増強する事が近々の課題です。会員増強委員会カウンセラー望月宗敬直前がバナーは義理と人情と押しのいってで頑張ってもらいたいと我々を指導しておりますが、全会員が自分自身の回りを見て頂き推薦してまとめる以外には会員増強は進まないと思いますので宜しくお願い致します。



「年度を顧みて」 クラブ広報・情報委員会 中河 邦忠 委員長

当委員会の使命は、多くの人たちにロータリー活動を知っていただき、ロータリーへの理解と支援を促進することです。ということで、委員の協力を得て、積極的に PR し知名度アップを図ったつもりです。

「ロータリーの友」の購読については、委員が皆様にピックアップしてご紹介してきましたが、一人一人ご自身で読んでいただくことが大切だと思います。

会報の校正、編集は全て事務局の掛川さんです、感謝しています。



「1年を顧みて」クラブ奉仕委員会 橋詰 希望 委員長

会場、司会、ニコボックス、親睦と多岐にわたって担当があり、委員の皆さんには大変お世話になりました。

下半期は1月新年会を音羽で、3月の創立夜間例会では小諸高校音楽科の生徒4人による演奏をしていただきました。ただ曲目が私たちになじみのある曲でなく、今後お願いするときはホビュラーな曲にしてもらつようしたいと思います。

5月の合同例会は小諸クラブ主催でしたが、昼間のゴルフ対抗戦では我がクラブが僅差で勝利しました。矢島栄一さんの力がいかに必要かを実感しました。

親睦がロータリーの基本と考えて1年を計画し実行してきました。



「年度を振り返って」出席プログラム委員会 前田 博志 委員長

ビフォーアフターで一躍脚光を浴びた甘利恭一設計士から始まった、掛川年度は、小泉新市長・日本政策金融公庫佐藤支店長・日本蜜蜂林さん・そらねこ会・日本野鳥の会・アルティスタ・etc と多種多様にプログラムを展開しました。

それぞれの講師は、最初は戸惑いつつ、真剣にかつ熱意をもって、臨んでくれました。資料も綿密にご用意して頂きました。気の毒になるくらいです。

気づいたことがあります。

外部のお客様には、恥ずかしく無いようにそれに報いなければならないと思います。

1. 時間を確保すること。確保出来ない場合は？
2. ロータリーの友紹介の時はどうしましょう。
3. しっかりと聞くこと。たかが30分です。質問したいです。折角の機会ですもの。

改善していきたいです。振り返って、とっても楽しかったです。

奉仕プロジェクト委員会 黒澤 明男 委員長

- (1) 職場訪問を行い、職業奉仕の理解を高めるため、11月15日「クリーンヒルこもろ」で職場例会を開催
- (2) 地域の環境整備事業として8月23日、11月8日、6月21日飯綱山公園の草刈作業実施
- (3) 職業奉仕賞の表彰、判光堂印舗店主大柄富義様を表彰
- (4) 小諸市社会福祉協議会、評議員会への出席

クラブ活動の柱ともいべき社会奉仕の部分で、成果を挙げることが出来なかった事を反省しております。



ロータリー財団・米山記念奨学会委員会 黒田 説成 委員長

「よくある質問」

中国人の奨学生が多すぎるのでは？

2015 学年度奨学生 730 人のうち 39.7%が中国からの学生です。他国に比べて多いとは

いえませんが、3年前から 50.8% (2012) →43.9% (2013) →40.7% (2014) と減少傾向にあります。日本の高等教育機関で学ぶ留学生の 55.9%を中国の学生が占めるなか、各地区選考委員会では、人柄・学業の優秀性を重視しつつ国籍バランスを考慮し、採用しています。

反日国からの留学生をなぜ支援するのですか？

ロータリーは国や民族、文化、職業が異なる世界中の人々が結び合い、国際理解、親善、平和を推進することを目的としています。これからも平和への人づくりにご理解と協力をお願いします。

ポリオプラス等について寄付のお願いをしました。米山についても寄付の増進をお願いしました。寄付金が年々減少しており奨学金も年々減少しています。そんな中で任思暁さんの卓話をお願いしました。11月の月間には幹事の矢島栄一さんをお願いし、画面を通じて財団について説明をしてもらいました。

1985年ポリオプラスのプログラム開始以来 125 国 35 万件以上の発症が確認されました。以来 25 億人以上の子供たちに予防接種をし、99.9%減少しました。その活動に 15 億ドル以上の資金を投入しました。